

目次

序

凡例

戦国・織豊期の尾張・三河

第一章 戦国期の尾張・三河の動向

第一節 尾張における戦国動乱の始まり

清須・岩倉和睦後の守護体制／尾張の国人と土豪／知多半島に割拠した国人たち／織田諸家／織田弾正忠家

第二節 三河における戦国動乱の始まり

三河東部の国衆たち／安城松平家の成立／松平一門の広がり／今川氏親の三河侵攻／松平長忠・信忠の時代／水野一門の広がり／吉良氏の動向／船形山の戦い／牧野氏の復権／戸田氏の勢力拡大／国衆たちの争いと交流

第三節 織田氏・今川氏の勢力拡大と尾張・三河

松平清康と守山崩れ／織田信秀の那古野進出／尾張勢の三河・美濃侵攻／今川義元の三河侵攻と織田信秀／織田信秀の領国支配／小豆坂の戦いと安城城の攻防／今川氏の三河支配／今川氏と松平氏／今川氏と三河の諸領主／コラム 『松平記』と『三河物語』

第四節 織田信長の登場と桶狭間の戦い

織田弾正忠家家督の迷走／「御若年」の三郎殿様信長／今川氏の八事進出と清須異変／守山異変／井ノ口異変から稲生の戦いへ／信長の岩倉攻略／今川義元の西上／桶狭間の戦い／

102

74

36

14

13

1

第五節 小牧築城と犬山攻略／美濃侵攻から上洛へ／關所地処分と買得地安堵／コラム 『信長公記』と太田牛一
 徳川家康の三河制覇 140

第二章 織豊期の尾張・三河の動向 167

第一節 織田政権の尾張支配と長島一向一揆 168

織田信長上洛後の尾張衆／河内長島と願証寺／長島一向一揆と織田信長の戦い／織田信忠の家督相続／
 信忠と尾張家臣団／信忠の政治的位置

第二節 長篠の戦いと徳川家康の三河支配 188

徳川氏の遠江侵攻／家康の浜松移転と野田城の戦い／武田勝頼の三河侵攻／
 長篠城の攻防／設楽原の戦い／水野信元の誅殺／織田権力と徳川氏／駿遠の攻防と徳川信康の自刃／
 徳川氏の駿遠両国平定

第三節 織田家の凋落と信雄・家康 220

本能寺の変後の混乱／清須会議と三法師擁立／清須会議後の織田家内紛／天正十年冬の争乱と信雄擁立／
 賤ヶ岳の戦いと東海地方／秀吉と信長の旧臣たち／小牧・長久手の戦い前の徳川氏／小牧対峙までの経過／
 長久手の戦闘／小牧・長久手の戦いと諸国の争乱／秀吉の楽田撤退／尾張西部・南部の攻防戦／
 蟹江開城以後の攻防／信雄・家康と秀吉の和睦／コラム 「神君伊賀越え」の実像／コラム 陣立書の成立

第四節 織田信雄・徳川家康と豊臣体制 268

織田信雄の尾張入部と知行安堵／天正十一年の総検地／「織田信雄分限帳」と知行替え／
 小牧・長久手の戦いと知行替え／天正十四年再検地と領国再編成／諸役賦課基準の統一／
 徳川氏・羽柴氏の攻防／朝日の興入れと家康の上洛／三河本願寺教団と徳川氏／五十分一役の賦課／

七か条定書と五か国総検地／小田原攻めへの準備／家康の関東移封／信雄の改易／秀吉の戦後処理と尾張・三河

第五節 豊臣政権の尾張・三河支配

豊臣秀次の尾張入部／関白秀次と尾張の統治／秀吉の尾張下向と復興策／岡崎城主田中吉政／吉田城主池田照政／秀次事件と尾張／秀次事件と三河／福島正則の入部／関ヶ原の戦いの始まり／尾張・三河両国での攻防／美濃国への進軍と関ヶ原の戦い

第三章 戦国・織豊期の都市と村落

第一節 水陸交通の発達と都市

変化する交通路と整備・維持／伝馬制度をめぐる人々の動き／河川交通の利用と統制／海上交通と交易・軍事／都市となる市・都市を支える市／門前町と寺内町／流通政策―銭貨と材木―／戦国大名と商人・職人／織田弾正忠家と津島・熱田／織豊政権と商人・職人／コラム 発掘調査で確認された本證寺寺内

第二節 城と城下町の空間構成と機能

中世村落の展開と城館／国人の城／下津から清須・岩倉／織田信秀の台頭と城／信長の小牧移転までの清須／小牧山城／信長・家康の戦いと境目の城／小牧・長久手の戦いと城館整備／松平諸家の城／岡崎城と城下町／西尾城と城下町／吉田城と城下町／信雄の大改修から清須越しまで／コラム 城館・城下町の出土遺物

第二節 戦国・織豊期の村落と農業・漁業

戦国期の村落／戦国期の年貢と土地把握／売券と寄進状にみる多様な年貢／百姓に対する規制／徳政をめぐる／今川氏の検地／徳川検地と太閤検地／徳川検地と太閤検地後の村落／戦国・織豊期の開発／贈答と山野河海の動植物／山野河海の利用と規制／合戦と百姓・町人たち

尾張・三河へ出された禁制／コラム 人身売買

第四節 戦国・織豊期の自然環境と災害

自然災害と明応地震／天正地震の発生／木曾川の洪水と流路の変化

第五節 戦国・織豊期の窯業生産と流通

大窯期の窯業生産／瀬戸大窯の焼成技術と生産器種／瀬戸美濃大窯の生産組織／瀬戸美濃大窯の分布と群構造／瀬戸窯から美濃窯へ／瀬戸美濃大窯製品の流通圏／大窯製品の流通経路／大窯製品の流通システム／常滑焼の生産と流通／土器の生産と流通

第四章 戦国・織豊期の寺社と信仰

第一節 戦国・織豊期の宗教状況

宗教秩序の変動／領主・民衆の信仰と寺社／戦国仏教とキリスト教

第二節 顕密勢力の展開

尾張における天台宗寺院の動向／三河における天台宗寺院の動向／尾張における真言宗寺院の動向／三河における真言宗寺院の動向

第三節 神祇信仰の展開

熱田社をめぐる動向／津島社と天王信仰／尾張在地有力神社の動向／三河在地有力神社の動向／熊野御師・伊勢御師と檀那／白山先達と御師の活動／富士山信仰の浸透

第四節 禅宗勢力の展開

尾張・三河の禅宗寺院勢力／尾張の妙心寺派寺院／永祿沙汰／犬山瑞泉寺の焼失と再建／一宮妙興寺の妙心寺改派／三河における妙心寺派の展開／曹洞宗の法脈／田原長興寺と戸田氏／禅宗寺院の民衆布教／コラム 妙心寺派僧侶の出世コース

第五節 浄土宗・法華宗・時宗勢力の展開 570

浄土宗鎮西派の三河進出／大樹寺の開創と松平氏／浄土宗西山派の三河・尾張進出／
 浄土宗と禪宗の親近性／大樹寺の変容／今川義元・松平元康と大樹寺／松平家と大林寺／
 法華宗陣門流の三河進出／時宗の動向

第六節 浄土真宗勢力の展開 590

真宗道場の地域的展開／『天文日記』にみる三河・尾張／本願寺門徒の寺内・一向一揆／

石山合戦と三河・尾張門徒／三河本願寺教団の再興／本願寺東西分派と三河・尾張／高田専修寺勢力の動向

第七節 尾張・三河とキリスト教 614

キリスト教の日本伝来／尾張における布教活動の始まり／三河における布教活動の始まり／
 バテレン追放令以後の活動

第八節 寺社をとりまく人々 624

今川氏・徳川家康と三河寺社／陣僧役／土地の寄進／堂舎の造営と人々の願い／
 祠堂の保護から検地の実施へ／寺社と石造物／寺社と金工品／コラム 中世肖像画と尾張・三河

第五章 戦国・織豊期の文芸と生活文化 645

第一節 戦国・織豊期の文芸 646

禅院開山たちの語録／修道としての詩文／美少年と詩文／絵画と詩文／記／化縁疏／字説／画像賛／
 戦国・織豊期の和歌と連歌／和歌を詠む人々・学ぶ人々／宗長と連歌を詠む人々／宗牧と連歌を詠む人々／
 紹巴と連歌を詠む人々／連歌と尾張・三河両国の人々

第二節 武家の生活文化 682

鷹狩／蹴鞠／年中行事と贈与／天正十年の改暦問題／『家忠日記』の世界／『家忠日記』の魅力／
 深溝松平家・徳川家の年中行事／松平家忠と本光寺／家忠と連歌／家忠と茶の湯／家忠と鷹狩・川狩

第三節 都市と村落の祭礼と芸能	716
尾張津島天王祭／奥三河の霜月神楽／陰陽師の尾張入植／コラム 石巻神社「おりめ」	
あとがき	
執筆分担	730
引用・参考文献一覧	732
掲載図版一覧	750
資料提供者及び協力者	758
愛知県史編さん関係者名簿	762
索引	